

愛車を手放した。四年前に知人から譲り受けて以来、近場のドライブに役立った。が、あちこち故障し始め、ついにはハンドルが動かなくなり、車検を機に廃車にしたのだ。

その直後、福岡市で飲酒運転による死亡事故が起きた。事故の悲惨さを伝える新聞記事の横に、子どもたちのあどけない笑顔が並んでいた。非常識な行為が、

三つの幼い命と尊い人生を奪ってしまった。

運転には細心の注意が必要だ。少し体調が悪いだけ



小粒の光

ムラサキシキブ

でも注意力は衰える。ましてや、飲酒後にハンドルを握るなど考えられない。自

分の命さえ軽んじているのかと言いたくなる。

驚きあきれるのは、事故の衝撃と遺族の悲しみがあっただけ報道されたにもかかわらず、飲酒運転が一向に減らないことだ。想像を巡らしてほしい。一瞬の事故が命を奪い、多くの人を悲しみの底に突き落とす。そして自分自身も一生罪を背負うのだ。

いくら自分が気を付けても、いつ事故に巻き込まれるか分からない。そんな不安にもかられた。だから、しばらく車を持つ気になれない。

悲惨な事故に思う